

高校生と市長との意見交換会が開催されました

2月3日(火)、市役所で高校生と市長との意見交換会が開催され、佐渡高校から生徒会役員など10人が参加しました。

今の高校生たちが「どのような佐渡なら住み続けたいのか」「大人に期待していること」など、率直な意見交換を行い、今後の施策に生かすために、初めて開催されました。

佐渡高校では、事前に1・2年生を対象にアンケートを実施して意見をまとめ、環境、観光振興、公共交通などの課題について積極的に提案しました。



意見交換会の主な内容

高校生 市長は、観光か環境か、どちらを優先したいと思えますか。

市長 環境です。佐渡の発電は99%が石油を燃やしています。エコの島といいながらおかしな話です。しかし、100%自然再生エネルギーというのも難しい。自然再生エネルギーと石油をベストミックスという形で活用する必要があります。

高校生 自然エネルギーというものは、例えば佐渡だと何をもとにしたものですか。

市長 一番大きいのは太陽光です。また、風力・水力があります。それから、

佐渡は森林が6万haくらいあるので、間伐材を活用したチップなどバイオマスをやっていきたいと思っています。また、水素も今研究しています。産官学で佐渡におけるエネルギーのベストミックスを研究していくことで、人と自然が共生できる島というものを本格的にやっていきます。

高校生 市民がおもてなしの心を持つことや交通マナーを直すことについて、どういう形で皆さんに呼びかけようとしていますか。

市長 おもてなし条例を作って、行政が、企業が、一般の市民の人たちがこういうことをやりましょうと呼びかけても、なかなか強制はできないです。けれども、皆さん一人ひとりが大きいことを考えなくてもいい。船から降りてきた人にニコツとする。交通マナーに関しても、譲ってもらった時に少し手を挙げる。自分ができることをひとつでもいいからやってみたら、6万人がやればすごい効果があるので、これを皆さんにお願いしたいです。

高校生 金山や小木の宿根木について、その地域以外の方が聞かれたときに答えられるのか、この情報伝達についてはどうですか。

市長 そういう問題がありますから、学校の総合学習などで取り入れていきます。また、金山を世界遺産登録に向けてやりますし、佐渡ジオパークも世界登録を目指します。そして世界農業遺産もあります。ジオパーク、金山、世界農業遺産は全部つながっています。佐渡が一つになるには50年100年とかかかります。これをなんとかしていくためには、「よし、平成29年に佐渡の金山を世界遺産にしよう。このことによって佐渡の活性化を図ろう」と皆さんに意識してもらおうことが大事です。

高校生 佐渡金山が世界遺産になると観光客が増えるのに、宿泊施設があまり整っていない、バスがないなど、逆に世界遺産になるのが少し不安だという意見がありました。

